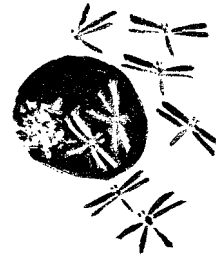


農業



平成24年9月号

会誌 No. 1563

目次

巻頭言

農芸委員会バイオマス研究会を終了して……………貝沼 圭二 3

論壇

サイクリングとローカル線の活用……………祖田 修 4
- 地域活性化の一策に -

農業懇話会

平成23年度食料・農業・農村白書……………折原 直 6
特集 東日本大震災からの復興1年-復興への歩みに向けて-
食料自給率の向上
食料の安定供給の確保
農業の持続的な発展
農村の振興・活性化
平成24年度食料・農業・農村施策
質疑応答 …………… 19

研究の最前線

福島県農業総合センターの放射性物質対策研究の取組……………吉岡 邦雄 21
放射性物質対策研究の状況
現在までに得られた成果
県内農用地土壌の放射性物質の分布状況の把握
放射性物質濃度の簡易測定法の開発（土壌）
各種作物の放射性物質吸収量の把握

放射性物質の除去・低減技術の開発
放射性物質吸収抑制技術の開発
農産物加工における放射性物質の除去技術の開発
農作業における放射線被曝低減技術の開発
今後の対応

表彰農家訪問

都市近郊の有利性を生かした高級ブランド牛肉への挑戦……横内 圀生 33
－神奈川県葉山町に石井義房さんを訪ねて－

農業・農村の現場から

ビワ産地の農業者が一体となったシカ対策……梅津 喜浩 40
－長崎市の鳥獣被害対策－

世界の農業は今

エチオピアの文化と稲作……廣瀬千佳子 47

統計情報

農業・農村の6次産業化総合調査結果の概要（暫定値）…… 52
－農業生産関連事業の年間総販売金額及び総雇用者数－（平成22年度結果）

農政情報

大日本農会だより…… 54
ミニ情報「農業集落数の動向、今後消滅が予測される集落数」…… 46

表紙写真説明

収穫の頃（福岡県うきは市葛籠^{つづら}）

平成17年に旧浮羽町と旧吉井町が合併して福岡県うきは市が誕生した。福岡県南東部に位置し、北は朝倉市、西は久留米市、南は八女郡星野村、東南部は大分県日田市と接している。写真の棚田は、日本棚田百選に選ばれた「つづら棚田」である。浮羽町葛籠におおよそ300枚の棚田が広がり、秋の刈入時は、30万本と言われている真っ赤な彼岸花があぜ道に沿って咲き、写真家が多く訪れる撮影ポイントになっている。

うきは市は、農業が盛んな地域である。農家数は、市の世帯数の4分の1に相当する2,500戸、そのうち認定農業者数は250名、4Hクラブ員数21名と若い農業者の活動も活発である。集落営農は13組織、新規就農者数は1年平均で5人となっている。

水稲、小麦、大豆、中でもカキを中心としてブドウ、ナシ、キウイフルーツなどの果樹生産や酪農、肉用牛、養豚、採卵鶏、ブロイラーといった畜産全般が盛んであり、さらに養蜂農家が6戸もあり、多様な農業が展開されている（うきは市農林・商工観光課調べ）。

（写真提供：（社）地域環境資源センター）